教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 森戸卓也
編集人 福山香織
電話 050（3538）2346
1部15円　年定価360円
（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2024/12・15
No.2107

・兵教組教育課程学習会
・第74次全国教研選出リポーター決定

≪2024対県賃金確定闘争≫

世代を問わず、現場教職員の想いを受け止めた回答を引き出し、妥結！

―主な県教委回答―

◆月例給の給料表を平均3．0％の増額改定（若年層に手厚くなるよう逓減措置）
◆一時金は年間で期末・勤勉手当0．05月分引き上げ（再任用職員は年間で期末・勤勉手当0．10月分引き上げ）
◆高齢層職員の士気確保
◆地域手当の今期改定は見送り、級地区分は現行維持
◆中高齢層の士気確保をはかるため、配偶者に係る扶養手当の廃止は1年先送り
◆通勤手当は支給限度額を15万円に引き上げ
◆子を養育するための離職・再採用制度を小学校3年生修了まで拡充
◆教育職の「病気休暇」の見直し撤回

兵教組は、2024対県確定闘争において、人事委員会勧告・報告をふまえ、県教育長に対し、11月5日に「2024年度教職員賃金等に関する申し入れ」を提出し、その要求実現をめざして、県教委との交渉・折衝を積み重ねてきた。この間、11月5日に県職労青年女性・兵教組青年部統一決起集会、14・15日に地区代表による県内9か所一斉県民局・県民センター申し入れ、27日に第2波統一決起集会を開催し、意思統一をはかってきた。県職労、兵高教との共闘を強化しながら、12月2日を「最終局面」と設定し、具体的回答を要求した。

さらに給与確定交渉とは別に、兵教組独自に事務職員部・臨時採用教職員部（10／30）、青年部・栄養教員部（11／5）、女性部・養護教員部（11／13）、執行部・地域組合代表による県教委要請行動（11／27）などの対県要請行動を積み上げ、学校現場の実情や要求を訴えてきた。

各分会・地域組合においては、時間外職場集会・要求実現集会を開催し、意思統一をはかった。現場実態や教職員の思いをこめた県教育長宛「賃金・労働条件の改善に関する要求書」を、第2回給与確定交渉および27日の要請行動、最終局面に至る段階まで99．97％集約し、県教委に手渡した。

県教委は第2回交渉時において、①勧告どおり給料表の改定をおこなう、②期末・勤勉手当を勧告どおり年間0．10月分引き上げ（再任用教職員は0．05月分）、③寒冷地手当の引き上げ、④通勤手当の限度額引き上げ、⑤再任用職員の諸手当支給について回答した。さらに、⑥配偶者に係る扶養手当の廃止、⑦地域手当の今期改定の見送りと27年度の引き下げ、⑧教職員の未配置問題の解消および業務改善、⑨病気休暇の見直し等について回答した。

この回答を受け兵教組は、各学校現場において懸命にとりくんでいる管理職を含むすべての教職員に対し、この間の労苦に報い士気確保につながる成案をもとめた。

さらに第3回交渉において、教職員の未配置問題の解消にむけた人材確保対策および業務削減策として、①子を養育するための離職・再採用制度を、養育する子が「小学校3年生を修了するまで」に拡充、②休暇・休業制度の周知策、③多忙化対策にかかる全県での共通目標やとりくみの設定等について回答した。

また、第2回交渉で提示された「地域手当の支給割合を27年度に引き下げる」とする方針についてはいったん撤回し、各年度の職員構成をふまえた上で、その次年度の支給割合については毎年度協議するとした。

病気休暇の見直しについては、「本県の教育委員会だけが特例的な取り扱いを継続することは非常に困難」とし、教育職についても同様に実施したいとの考えを再度示した。

これに対し兵教組は、「教職員の未配置、多忙化が解消されない中、受け入れることはできない」と、改めて行政職を含めた新制度の実施見送りをもとめた。

第4回交渉において、県教委は兵教組の要請について「皆さんの強い思いがあるものとして重く受け止めている」と述べ、①扶養手当の改定を1年遅らせる、②高齢層職員の士気確保、③先読み加配の配置期間を4～8月に1か月拡充、④教育職の病気休暇見直しを撤回し、来年度協議すると回答した。

教育長は「お示しした内容は、限られた選択肢の中で私どもが取り得る精一杯の内容である。何卒ご検討をよろしくお願いしたい」と述べた。

兵教組は第5回戦術会議において、タイトな日程の中、厳しい状況ではあるが、今回の県教委回答を今期対県賃金確定の到達点と受け止め、12月2日19時30分、県教委提案を受け入れ妥結した。

※詳細は教育ひょうご速報No.10・11参照

県教委との最終交渉

県教育長に要求書を提出

第2波統一決起集会

女性部対県要請行動

青年部対県要請行動

養護教員部対県要請行動

事務職員部対県要請行動

栄養教員部対県要請行動

臨時採用教職員部対県要請行動

速報等がすぐに届く！スマホで見られる！

兵教組LINE公式アカウント

最新情報配信中！

「寝息」

たつの市立新宮中学校　2年
重石　創亮

『こどもの詩と絵　第44集』より

教職員共済の マイページができました！

あんしん むすぶ 教職員共済

マイページでできること
◆ご加入状況の確認
◆お名前・住所・電話番号の変更手続き
◆自動車共済の契約変更（車両入替含む）

登録方法
パソコンから登録
教職員共済公式ホームページの「ご加入者用ページ」からアクセスする
教職員共済　マイページ　検索
https://www.kyousyokuin.or.jp/kumiai.html
スマートフォンから登録
こちらからアクセス

事前にご確認ください！
組合員番号はお分かりですか
本人確証のため、組合員番号の入力が必要となります。組合員証、各共済の共済証書、加入状況のお知らせなど、組合員番号が分かるものをお手元にご用意ください。
教職員共済に電話番号の登録はされていますか
本人確証のため、教職員共済にご登録の電話番号宛に認証コードを通知します。教職員共済に電話番号の登録をされていない場合は事前にお手続きが必要です。

LINE公式アカウントもできました！
お友だち登録はこちらから

イメージキャラクター「あむりん」

厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合　〒162-8624 東京都新宿区山吹町10-1　ラポール日教済

兵教組教育課程学習会

学校、家庭、地域が手を携えて、子どもの意欲を高め 学ぶ楽しさを生み出す教育課程編成をすすめよう！

11月30日、ラッセホールで教育課程学習会を開催し、県内各地より約40人が参加した。

「子どもたちを中心にすえたゆたかな学び」の実現を！

問題提起では、「第47次教育課程実態調査」の結果と教育課程編成上の課題を取りまとめた討議資料「学校発・兵庫の教育改革―すべての教職員が関わる、教育課程の創造的編成のために―」をもとに報告がおこなわれた。

続いて、「学校で工夫している具体的なとりくみ」と題して、研究所・教育課程部会の山本隆子さん（宍粟）と、北海道・小学校教員の水本王典さんより、それぞれの実践をもとに報告がおこなわれた。

山本さんからは「地域のことについての調べ学習を、国語科の情報収集、整理・分析、まとめ・表現と関連させて実施した。また、波賀森林鉄道についての調べ学習では、社会科の『地域の発展に尽くした先人』と関連づけ、さらに学びを深めた。総合的な学習の時間を他教科と関連させ、教科横断的にとりくむことで、内容の重複を避け時数を確保し、学習効果を高めることができる」と報告された。

水本さんからは、「現在の『学習指導要領』による膨大な授業時数と学習内容量は、子どもからゆとりを奪い、学校もどんどん息苦しくなっている。現学習指導要領下でもできることは、余剰時数を可能な限り少なくし、設定せざるを得なかった余剰時数は『自治的諸活動』の時間や『自由な遊び』などに活用することや、教科書の思考力・表現力重視の形式的に対応した空疎で難解な内容を疑い、学習内容を精選することである。また、この問題に共感する仲間を広げ、現場からの代替案を示していくことが重要である」と報告された。

グループ討議では、子どもや教職員がゆとりをもつために、各分会でのとりくみや実践をもとに思いや悩みを共有する機会となった。

グループ討議の様子

実践報告の様子

参加者感想

・実践報告を聞き、教育課程の編成を学校で考えていくことが大切であると感じた。今の学校現場で、教材の見直しや学習指導要領を確認するための時間確保ができるかどうかが、一番のネックである。

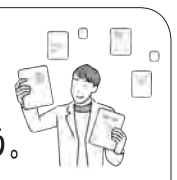
・他府県のとりくみを聞く機会がないため新鮮であった。組合員一人ひとりが教育課程に興味をもって学習することが大事だと感じた。

・他地域でのさまざまな編成の工夫を聞き、できることから始めたい。教職員がゆとりをもって働くことが大切であり、また子どもたちのさらなる学びにつながると再認識した。

・実践交流や悩みの共有の時間が一番大切だと思った。地域組合の学習会では、自市の実情を共通理解し、他地域の実践を広げ、今後に生かすことができる会にしたい。

・授業時数を減らすことはハードルが高いが、声を上げないことには何も変わらない。ともに声を上げる仲間を増やすことが大切である。

第74次全国教研選出リポーター決定！



兵庫の子どもたちのために、全国の仲間とともに討議を深めよう。

No	分科会	地域組合	名前	タイトル
1	日本語教育	姫路	小林　健二	書きたい！　話したい！　書ける！　話せる！
2	外国語教育(A小学校)	姫路	小谷　仙嘉	主体的・対話的で深い学びの実現をめざした外国語の授業作りについて
	外国語教育(B中学校・高校)	揖龍	鍛示　尚子	小中一貫を見据えた授業づくり
3	社会科教育(B現状認識)	多西	横川　和成	グローバルな視点からの政策比較で学ぶ人権問題学習の開発
4	算数・数学教育	西宮	盛　佑輔	友だちと協働的に論理を紡ぐ学び
5	理科教育	氷上	藤本　拓弥	地域に根ざした理科教育
6	美術教育	津名	蟬塚　聖理	写真の授業の有用性について
7	音楽教育	南あわじ	経免　年美	感じよう　深めよう　伝え合おう
8	家庭科教育	氷上	武田　清子	授業でいかせる教材研究
9	保健・体育(A保健)	姫路	近藤　怜奈	自他の体や命、心を大切にできる子を育む性教育
	保健・体育(B体育)	氷上	小林　真子	運動能力の向上をめざして
10	技術職業教育　(A技術教育)	津名	山中　祐介	「生きる力」をはぐくむ技術・家庭科教育
11	自治的諸活動と生活指導(A小学校)	津名	森本　一生	関わり合い高め合う集団づくりをめざして
	自治的諸活動と生活指導　(B中学校・高校)	揖龍	亀井　誠也	生徒・教職員の自発的な「やってみよう」から前進する学校づくり
12	幼年期の教育・保育と連携・接続	芦屋	渡邊　菜摘	心の通う幼小連携のとりくみ
13	人権教育	宝塚	近藤　久展	ICT×人権教育
14	インクルーシブ教育	川西	田中　千晶	通級で出会った子どもたち
15	国際連帯・多文化共生の教育	西宮	針江　志織	新しい学校保健の中での多文化共生を考える
16	両性の自立と平等をめざす教育	氷上	戸井本　奈央	みんなではじめるジェンダー平等教育
17	子ども・教職員の安全・健康と環境・食教育(A環境・公害)	豊岡	西垣　由佳子	子どもたちと学ぶ自然と文化
	子ども・教職員の安全・健康と環境・食教育(B食教育)	姫路	押部　可奈子	未来へつなごう！　食べることは生きること
18	平和教育	三田	足立　尚代	「平和」とは何かをもとめて
19	メディア・リテラシー教育と文化活動(A情報教育・学校図書館教育)	神崎	富田　絢子	子どもたちが本に親しむ図書館教育のとりくみ
	メディア・リテラシー教育と文化活動(B学校・地域の文化活動)	加小	多井　綾美	じまんしたい!鴨川小学校のふるさと太鼓
20	高等教育・進路保障と労働教育	多紀	山内　大輔	すべての生徒が希望する進路選択の実現にむけて
21	カリキュラム	三田	吉田　大介	つながりを大切にした学校教育
22	地域における教育改革とPTA(A 民主的な学校づくり)	姫路	宗和　博樹	教科の枠を越えた深い学び
	地域における教育改革とPTA(B PTA・地域の連携)	宍粟	福井　宏志	地域とともに創造する新しい学校園のかたち
	地域における教育改革とPTA(C 過密・過疎・へき地の教育)	赤相	小河　志保	認め合い　学び合う　児童の育成
23	教育条件整備の運動	神戸	岡田　有弘	プロジェクト型業務改善の実践
24	総合学習と防災・減災教育(Aものづくり・生活の中から)	赤相	上山　聡美	豊かなかかわりをとおして探究し続ける有年っ子
	総合学習と防災・減災教育(Bいのち・共生の視点から)	尼崎	古賀　雅輝	ともに挑んだ2%の変化

時間があせらしてくる

明石市立花園小学校　3年　清水　美里

時間があせらしてくる
どんどんあせらしてくる
わたしたちのことはきにせずに
あせらしてくる
やばいよ　やばいよ
やばいよ　きみたち
どんどん時間がせまってるぞ

時間があせらしてくる
そんなにあせらすな
ちょっとまって　ちょっとまって
ちょっとまって　時間
あせらせないでくれ
あしたも

『こどもの詩と絵　第44集』より

あんしん むすぶ
教職員共済　教職員のことを誰よりも知っているから…万一の自動車事故は、お任せください！

自動車共済　お見積りキャンペーン
2024年12月1日～2025年2月28日まで

キャンペーンサイトから
自動車共済の
資料＆見積書を
ご請求いただいた方に

MARKS＆WEBの
ハーバルバスパウダー
もれなくプレゼント！
アクセスはこちらから！

資料請求・お問い合わせ
厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合　兵庫県事業所
〒650-0004　神戸市中央区中山手通4-10-8 ラッセホール4F
TEL　078-221-9730【平日9:00～17:30】